

平成27年9月19日に開催した多摩永山中学校視聴覚室の天井梁部分に貼られた石膏ボード落下事故に関する説明会における質疑応答について

■参加人数：21名

■質疑応答内容（要約）

○保護者 平成23年2月時点で、落下した梁部分の石膏ボードに剥がれが見られ固定工事を行ったとあるが、当時どの程度剥がれていたのか。

また、剥がれた原因について接着剤の量が不足していた等の原因や、直後に発生した東日本大震災が加速要因になっているのか、分かっていたら教えてほしい。

○教育振興課長 当時の状況については詳しい状態は分かっておりません。ただ、その当時に現場を確認した技術職員によって適切に判断し、補強されたと認識しています。

東日本大震災による直接的な影響は分かりません。

○保護者 梁と接着剤の界面が剥がれていると見て良いのか。

○教育振興課長 団子状になっている接着剤部分の面で梁に接着しており、その接着面が剥がれたものです。

○保護者 接着剤の量は適切だったのか。接着剤の間隔も広いように思えるが。

○教育振興課長 当該箇所はGL工法という壁面や天井梁に使用されている方法で、接着についても決められた量や幅にのっとり、施工されていると考えています。

○保護者 平成23年3月の補強工事は適切と見ていたのか。

○教育振興課長 当時の施工は、その時点では適切と判断しています。今回の石膏ボードは平成10年に全教室で貼付けをしています。他の教室では点検を行い、大きな問題はないことを確認していますが、今回の事故箇所については、既に平成23年に剥がれがあったことから、何らかの問題があったと考えています。

○保護者 保護者宛の手紙では、生徒に出血はないと書いてあったが、実際背中に擦り傷

はできていた。服を重ね着していたため、軽傷で済んだが、怪我の程度の問題ではなく、今回の事故は重く受け止めてほしい。

疑問点として、何故警察を呼ばなかったのか。99%事故だとしても、1%の故意に起こされた可能性という不安を、警察を呼ぶことで払拭してほしかった。また、手紙にあった他の箇所の安全を確認した技術職員とは、どういった人たちなのか。また、手配して事故現場を片付けたという業者はどこなのか。

多摩市のホームページに掲載したということだが、私には事故のお知らせがすぐには見つけられなかった。今回の事故は他の学校等でも起こりえることだと思うので、広く皆に知らせることが大事だと思う。

○教育振興課長 今回の事故でご迷惑、ご心配をおかけして誠に申し訳ありませんでした。教育委員会でも学校は安全第一という認識でいます。その点を再度念頭において、日常点検、法定点検等をしっかり行っていきたいと思います。

警察を呼ばなかったという件ですが、当日、事故が発生したと聞いて急いで現場を確認し、状況を判断して、警察を呼んでも故意に生じたものと判断はされないと考え、現場を片付けることを優先しました。現場を片付けたのは櫻間工務店という業者です。

ホームページについては、トップページ左にある教育委員会という項目の「教育委員会からのお知らせ」という欄に掲載させていただきました。ホームページの構成等の問題もあり、現在はその場所に掲載しています。

○施設係長 現場を確認した技術職員とは、建築技術職として採用された、教育振興課施設係及び行政管理課施設保全担当の職員です。

○教育長 保護者の方からの指摘をいくつか頂きましたが、全くその通りだと思います。重く受け止めており、この説明会開催に至るまでの間も子どもの怪我が一番心配だということ、対応してきました。

服を重ね着していたとはいえ、重たいものが落ちてきて当たっているわけですから、大変痛い思いをしたとともに、かなり恐怖心もあったのではないかとということで、怪我と共に心のケアも必要だと感じました。今回の事故は絶対あってはいけない事故だと改めて思っています。

今回の件は教育委員会だけでなく、議会へも情報提供しています。また、老朽化した施設の改修について予算の面も含めて考えて、学校に限らず他の施設も含めて、子どもたちの安全について改めて検討していきたいと思っています。

○保護者 学校は生徒だけではなく、地域方々の避難場所にもなる場所なので、今回の件は地域の方々にも知らせるべきだと思います。事故が起こってしまったことは仕方ないですが、その後の対応で市に対して不信感を持つようなことにならないよう気をつけてほしい。

○教育長 災害時には、教室も含めて避難所になりえると思うので、地域の方々にも機会を捉えながら、今回の意見等含めて説明していくべきだと思っています。議会の皆さんへも適切に情報提供しているところです。

○保護者 今回被害にあった生徒は全員タクシーで病院に行ったということですが、頭に当たった生徒もいたと聞く中で、何故救急車ではなかったのか。安全第一というがその点少し不安を感じる。

また、事故当日、こちらから学校に連絡をしないと状況を教えてもらえなかったのもショックだった。カウンセリングを受ければ良いということではなく、担任の先生方から、「ほっとした」、「今日はこんな様子だった」などの連絡をいただきたかった。怪我が発生することはあると思うが、その後の対応に不安を感じた。

事故原因の分析等仕方ないと思うが、説明会の開催時期も遅かったのではないか。

○校長 ご心配をおかけし申し訳ありませんでした。今回は職員を同伴させた上で、タクシーで病院に向かわせれば大丈夫と最終的に私の判断で指示しました。その判断が甘かったのでは無いかという指摘については、参考にさせていただき、今後は本当に大丈夫という確信が持てたとき、そのような対応をさせていただきます。

電話の件は、今回被害にあった生徒が 11 人と多かったことから、担任は全ての家庭に連絡をとるという気持ちでいたが、私の指示で、副校長などで手配をするよう指示しました。その翌日以降、担任のほうで該当する家庭に対して順次連絡していくようになっていたと考えています。しかし、もしその点で抜かりがあったということであれば、大変申し訳なく思っています。

安全の確認について、学校ではたとえば自然災害が発生した際には、各担当職員に校内を点検させ、何かあれば副校長に集約し、教育委員会に伝えるという体制が出来ています。全てがその対応で賄えるかという疑問はあるかとは思いますが、今後もそういった対応は徹底していきたいと考えています。

地域のことについては、多摩永山中では月に 1 回の割合で、永山と瓜生の青少協に参加しています。先日行われた永山の青少協でも、今回の事故についての報告を行い、次回本日行った説明会の内容についてもお話するという情報は流しています。瓜生についても同様です。学校でもこうした地域への情報提供は必要と考えています。

○教育振興課長 説明会の開催時期が遅かったのではないか、というご指摘ですが、今回はアスベストが含有されている可能性があったため、まずその分析結果を明らかにした上で説明会を開催した方が良いと考え、この時期になりました。

○保護者 平成 23 年 2 月の一部剥がれが生じたという事象は、今回生じた落下事故の危険サインであり、落下を予防できなかったという点で、ヒューマンエラーがあったと考えるが、教育委員会はどのような認識なのか。

○教育振興課長 事故の予防という件についてですが、建築基準法で3年に一度建築物について法定点検を行っており、多摩永山中学校も平成25年に点検を実施し、その際は該当箇所に指摘事項はありませんでした。また、校長からもありましたとおり、日常的に学校側で目視点検を行って教育委員会と情報共有をしております。

ヒューマンエラーの件ですが、平成23年3月の補修工事は、当時の技術職員が現場を確認し、アングル工事で対応できるだろうと判断したものと認識しています。しかし、その判断自体が、ヒューマンエラーであったかもしれないと思います。

○保護者 設備がしっかりしているから大丈夫、怪我が軽いから大丈夫ということではなく、人による確認を軽く見ないで、ヒューマンエラーがあったということについて認めて頂いて、しっかり対応していただきたい。

○教育長 ご指摘があった通り平成23年2月の剥がれはおそらく危険のサインだったと思います。当時はアングル工事で対応できるという判断をしたのですが、その判断が適正だったかということについては、実際このように事故が起きたことで、ヒューマンエラーと指摘されても仕方が無いと思います。今回の件は良い事ではありませんが、教訓にしなくてはいけないと強く思いました。

○保護者 落ちたボードはどのくらいの重さがあったのでしょうか。また説明会の通知について、たいしたことはなかったと受け取られても仕方がない内容ではないのでしょうか。通知の表現について考えていただき、またもっと情報開示をしてほしかった。進捗状況についても、この説明会までに、わかったことや確認できたこと等の情報を逐次ホームページ等で開示してほしかった。

○教育振興課長 ボードの重さについて、石膏ボードと接着剤をあわせるとかなりの重量があったものと想定できますが、現時点では正確な重量はわかりません。情報の出し方について、教育委員会と学校で十分に連携して、適宜・適切に情報提供ができるように努めていきます。

○教育長 怪我をした生徒の保護者のみなさんには、写真も合わせて詳しく説明をさせて頂きましたが、他の学年を含めて十分に理解していないということがあれば、申し訳なく思います。情報提供のあり方については教育委員会側も反省しなくてはいけない部分もあり、学校側も一緒になって検討し、ここだけの話しにせず、教訓とさせて頂きます。

○校長 今回配布しています資料ですが、欠席している保護者の方にも後日配布できるようにします。学校側も保護者の方に情報をしっかりした形でスピード感をもって提供できなかったことについて反省しています。

○保護者 校長先生から夏休み明け最初の授業だったと伺いましたが、休み明け最初だか

からこそ、使用する前に点検をしてほしかった。平成23年度に補強工事をおこなった不安要素がある教室ならばなおさら気にかけてほしかった。

○校長 2学期開始前日の出勤の際、それぞれの先生が各担当の普通教室について点検を行いました。しかしながら、今回事故が発生した特別教室については、点検を実施いたしませんでした。使用中に何か変化があれば教員の方から副校長に伝えるようにしていますが、1学期の段階では特にそういった情報はありませんでした。今後、今回の事故を教訓として、長期休業明けは全ての教室において私達の目視等で確認をしていきたいと思いません。

○保護者 同じような材料が使われている施設もたくさんあると思うので、再発防止のためにも、どのくらいの重さのものが落ちてきたのか等、現時点で分からなくてもその検証は必要だと思います。

○教育振興課長 指摘いただいている通り、こうした事故が再発をしないように努めるのは当然のことと考えています。我々も再度施工方法や重さ等を調べながら再発防止に努めたいと思います。

※後日調べた結果、一般的な石膏ボードで $6.6\text{kg}/\text{m}^2$ 、接着剤 1 個につき 300g と試算できた。

○教育長 普段から学校の先生方には年間を通して日々施設の安全確認をしていただいていると認識しています。施設の管理は多摩市教育委員会の責任になります。今日頂いたご意見を踏まえて、今後対応していかないといけないと思っています。学校側にも安全の点検をしていただく対応を重ねてお願いしたいと思っています。

今後のご意見をいただければと思いますので、よろしくお願い致します。

○教育振興課長 他にご意見・ご質問が無いようですので、本日の説明会につきましてはこれで終了させていただきます。何かありましたら遠慮なく教育委員会、学校にご連絡いただければと思います。

本日はお忙しい中、説明会にお越し頂きありがとうございました。